

フォーラムNo. N1

テーマ名 交通事故自動通報による救急医療革命

日時 2016年6月29日(水) 10:00~13:00

会場 ポートメッセなごや イベント館 A

概要

交通事故自動通報(ACN)は、交通事故に遭遇した被害者を救済するための迅速な救命救急医療体制を確立するのに有効なシステムであるが、ACNは交通事故発生を通知するだけであるため、これに傷害予測情報などを付加したACNすなわち先進交通事故自動通報(AACN)の普及が急務となっている。ところが、ACN自体の普及が現在非常に立ち遅れており、これを打開することも課題となっている。そこで、本フォーラムでは、「交通事故自動通報による救急医療革命」と題して、ACNの普及のための方策についての提言を行い、同時にAACNの実現に必要な「日本独自の傷害予測アルゴリズム」構築の現状とその精度向上に向けた取り組みを紹介し、ACNあるいはAACNに対する理解を広く訴え、早期実現の方策を考える機会としたい。

企画委員会 交通事故傷害予測と自動通報に関する検討委員会

プログラム

開始時間	終了時間	司会/挨拶/ 講演者/パネリ スト等	演題	氏名	勤務先名
10:00	10:10	挨拶・司会	フォーラムの趣旨について	北岡 哲子	日本文理大学
10:10	10:30	講演者	工学による救急要請革命	阪本 雄一郎	佐賀大学
10:30	10:50	講演者	状態別(乗員, 歩行者, 自転車, 二輪車)死亡重傷率予測アルゴリズム	西本 哲也	日本大学
10:50	11:10	講演者	救急自動通報システム(D-Call Net)試行運用上の課題と対策の進捗	本村 友一	日本医科大学千葉北総病院
11:10	11:30	講演者	緊急通報サービスの運用と普及に向けた課題	斎藤 信夫	日本緊急通報サービス
11:30	11:50	講演者	事故自動通報の普及に向けた自工会の取り組み	佐藤 泉	日本自動車工業会
11:50	12:10	講演者	事故自動通報システムに関する海外の動向と国内の検討状況	井上 哲	国土交通省
12:10	12:30	講演者	交通事故自動通報のすすめ	宇治橋 貞幸	日本文理大学
12:30	13:00	司会	総合討論	北岡 哲子	
		パネリスト		阪本 雄一郎	
		パネリスト		西本 哲也	
		パネリスト		本村 友一	
		パネリスト		斎藤 信夫	
		パネリスト		佐藤 泉	
		パネリスト		井上 哲	

		パネリスト		宇治橋 貞幸	
--	--	-------	--	--------	--